

2022年3月期（第204期）第1四半期決算について

2021年7月29日

大阪ガス株式会社

1. 経営成績（2021年4月1日～2021年6月30日）

(1) 決算の概要

当第1四半期の売上高は、フリーポートLNGプロジェクトや米国上流事業などにおける海外エネルギー事業が増収であったものの、国内エネルギー事業で原料費調整制度に基づきガス販売単価が低めに推移したことなどにより、前年同期に比べて減収となりました。経常利益は、海外エネルギー事業の利益貢献などにより、増益となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、増益となりました。

[単位：億円]

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
連結	3,143 (△ 0.9%) [3,172]	375 (+48.4%) [252]	421 (+31.4%) [320]	315 (+45.8%) [216]

[]内は前年同期実績、()内は対前年同期増減率

(2) セグメント別概況

「国内エネルギー」のセグメント利益は、前年同期並みとなりました。「海外エネルギー」のセグメント利益は、フリーポートLNGプロジェクトや米国上流事業の利益貢献などにより、増益となりました。「ライフ&ビジネスソリューション」のセグメント利益は、情報ソリューション事業やフィットネス事業で前年度の新型コロナウイルス感染症の拡大による影響が緩和したことなどにより、増益となりました。

[単位：億円]

	売上高	セグメント損益 (注)
国内エネルギー	2,566 (△ 4.6%) [2,691]	239 (+ 0.3%) [238]
海外エネルギー	176 (+98.1%) [88]	125 (-) [△3]
ライフ&ビジネスソリューション	516 (+ 3.7%) [497]	44 (+43.1%) [31]

(注)セグメント損益：営業損益+持分法投資損益 []内は前年同期実績、()内は対前年同期増減率

(3) 国内ガス販売実績

ガス販売実績[45MJ/m³]は前年同期を上回りました。家庭用のガス販売量は、春先の高気水温の影響などにより、前年同期を下回りました。業務用等のガス販売量は、お客さま先での設備稼働増などにより、前年同期を上回りました。

個別	ガス供給件数(千件)	4,972 (△ 3.5%)
	家庭用	427 (△ 8.7%)
	業務用等	1,214 (+ 8.3%)
	ガス販売量(百万m ³)	1,641 (+ 3.3%)
連結	ガス販売量(百万m ³)	1,653 (+ 3.2%)

()内は対前年同期増減率

(4) 国内電力販売実績

国内の電力販売量は、小売と卸等がともに増加し、前年同期を上回りました。

低圧電気供給件数(千件)	1,544 (+12.2%)
小売	1,140 (+ 1.7%)
	卸等
電力販売量(百万kWh)	3,505 (+ 6.7%)

()内は対前年同期増減率

2. 当期(2022年3月期)の業績予想

原油価格及び為替レート的前提を見直した結果、2022年3月期の業績予想に変動が生じるようになったため、業績予想を修正します。

【今回業績予想】

[単位:億円]

	連結
売上高	15,100 (+10.7%)
営業利益	805 (△28.4%)
経常利益	950 (△25.6%)
親会社株主に帰属する当期純利益	705 (△12.8%)

()内は対前期増減率

(参考) 今回業績予想における原油価格・為替レート的前提

	第1四半期累計実績	第2四半期以降予想	年間平均
原油価格(全日本C I F 価格) ドル/バレル	66.9	75.0	73.0
為替レート(TTM) 円/ドル	109.5	110.0	109.9

【前回業績予想(2021年4月27日公表)】

[単位:億円]

	連結
売上高	14,050 (+ 3.0%)
営業利益	805 (△28.4%)
経常利益	950 (△25.6%)
親会社株主に帰属する当期純利益	705 (△12.8%)

()内は対前期増減率

以上